



三鷹中央通信



三鷹中央病院は、平成19年2月に日本医療機能評価機構Ver5の認定を受けました。

2007年 Vol.05

三鷹中央リハケアセンター『運営理念』

「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指したリハビリを行います。障害をお持ちの方の人間としての尊厳を守るお世話をいたします。明るく家庭的な雰囲気で、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

三鷹中央病院『医療理念』

当院は 地域医療の第一線を担う病院であることに誇りをもち いつでも どなたでも診療いたします。常に親切・安心・質の高い医療の提供を心がけ、事故のない病院をめざします。

三鷹中央リハケアセンター 事務長 澤美 亨

所感



季節の過ぎ行くのは早いもので、桜の花も終わり、紫陽花が咲き、もうすぐ夏が来ようとしています。半年前、当センターの事務長として着任してからの時間も、瞬く間に過ぎました。私は太平洋戦争の終戦を当時父が所属していた海軍航空隊の特攻基地が在りました鹿児島県指宿市にて母のお腹の中で知り、翌年の2月父の勤務先であった佐渡島が見える新潟県柏崎市で生まれ、その後両親の出身地東京に戻り、一歳前から東京で育ち、東京オリンピックの開催された年大学に入学、高度成長期の始まったころ社会人となり、神武景気やら、石油危機、バブルの到来、崩壊などを経験し、昨年還暦を迎えた新入社員にとっては、とても新鮮で、楽しく、忙しい半年でした。平成17年5月から活動を開始しました三鷹中央リハケアセンターも2年を経過し、平成19年5月現在、センターの主幹業務である入所サービス部門は看護・介護職員59名で平均96名の入所利用者様を、通所サービス部門は看護・介護職員9名、送迎ドライバー4名で1日平均43名の通所利用者様を、リハビリ科は8名の職員で入所・通所の利用者様のリハビリ訓練を、栄養科は管理栄養士1名が外注の厨房職員10名の協力で食事の提供を、事務系職員はケアマネ1名・相談員3名・その他事務職員3名で、それぞれの持ち場で各種のお世話をさせていただけます。

同じ建物内に事務所を構えて活動しております訪問看護ステーションでは、3名のベテラン看護職員が登録50名の在宅者様を、1日平均12件訪問・看護し、居宅介護支援事業所では看護経験豊富なケアマネ1名と介護経験のあるケアマネ1名、計2名で毎月50件の相談実績をあげています。リハケアセンターに勤務して最初に感じたのは、職員が若いことでした。こちらへ移るまで10年間在籍しておりました介護療養型医療施設でも、10年前に比べて介護保険施行などによる介護職場の拡充、若い世代の介護意識の高まりにより、職員の平均年齢が20歳ほど若返り、感心しておりますが当センター職員の平均年齢はそれよりさらに10歳ぐらい若いです。若い職員が洗剤と仕事をしている姿を見るのは気持ちを若返させてくれ、利用者様に良い刺激になつていています。

もうひとつは、入所利用者様の平均年齢が療養型施設と比べると若いことと、通所の利用者様の男性の比率が高いことでした。

年齢の若さは、終身入所が前提の療養型と在宅復帰が目的の当施設の機能の違いによるもの、通所利用者様の男性の比率が高いことについては、リハビリ部門の充実によるものだと思われます。当センターの主命題である「在宅生活への復帰」と「自立支援」を強力に促進するため、リハビリ部門は理学療法士3名・作業療法士3名・補助員2名の充実した人員体制と、広い訓練ス

月現在、センターの主幹業務である入所サービス部門は看護・介護職員59名で平均96名の入所利用者様を、通所の利用者様のリハビリ訓練に取り組んでおり、他の通所施設より、しっかりとしたりハビリ訓練ができることが魅力で、当センターをご利用される男性の方が多いのだと思います。こう言うとリハビリ訓練が、リハビリ職員の専売特許のような印象を持たれるかもしれません。が、在宅復帰への取り組みは訓練室のみで行われるものでも、成果が上げられるものでもありません。リハビリ職員のみがかかるものではありません。入所・通所の利用者を支える介護・看護職員による日常生活動作（起居・更衣・排泄・入浴・食事・会話・レクリエーション）の介助を通じた生活リハビリや、その他の職種の職員との日常的な会話やかかわり合いも、利用者の心の支えとなり、意欲の向上をもたらし、成果を上げるものなのです。

前述しました介護療養型医療施設では、入所されている利用者様はその場を終の棲家として「生活」されており、したがって設備も、職員の意識、行動もその目的に沿つたものであります。が、当センターは在宅復帰が前提の施設であり、おのずと職員の意識も取り組みもその目的に沿つたものとなっています。

「入院」とは意味合いが異なる「入所」という言葉の持つ重みを受け止めて、施設理念である「在宅生活への復帰」と「自立支援」に共感して集った職員たちが、日々利用者様・ご家族様の支えとなり、施設理念の実現に向けて明るく元気に活動しております。

私の役目はこの職員たちの現在を支え、将来に希望を繋げること、利用者様・ご家族様に安心と満足を提供することができる組織を熟成させること、施設が健全に運営され永続するためには、総合的な管理を、バランス感覚を大事にしながら行っていくことであると心得ます。微力な当職に皆様からご指導ご鞭撻を賜り、今後の三鷹中央リハケアセンターの充実と発展にご理解とご協力をいただければ幸いです。

三鷹中央病院

知つてお得な病院の利用術?

当院では、特殊画像診断としてCT・MRI検査を、積極的に行っております。

今回、それぞれの検査を簡単にご紹介させていただきます。

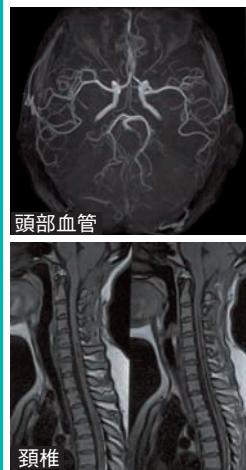
1. CT検査

エックス線を利用したコンピュータ断層撮影装置による検査です。体の周りを、エックス線管球と検出器をぐるぐると回転させ、人体の輪切り画像を作ります。普通のエックス線写真は、正面から撮りますが、断面を見るのが特徴です。

現在では、従来より高性能のマルチスライスCT装置が普及してきました。検出器の数を増やし、一度の回転で多くの断面を撮影できるようにこの装置を導入し、患者様の負担を軽減して、より精密な検査を始めております。

一度の息止めで、検査を終えることができ、X線の被曝も少なく、簡単に検査を受けられます。

そのうえ、1cm以下の細かい病変



も映し出せ、検査後にコンピューター処理を行いますと、三次元画像を作ることもできます。また、高速注射器と組み合わせることによって、血管の三次元画像までが描写できるようになりました。

2. MRI検査

核磁気共鳴画像法という、磁力をを使った撮影です、体内を構成する水・脂肪・血液・骨・臓器などを、断面画像として表すことができます。

軟部組織のコントラストが高く、病変検出率に優れることから頭蓋内(脳)病変の鑑別、エックス線では写らない椎間板ヘルニア、膝関節半月板などの軟骨疾患には有効です。また、腫瘍の良性・悪性診断用として利用されています。

リラックスしてベッドに寝ているだけで、ほとんどの検査は終わり、痛みもなく簡単に受けられます。

通所リハビリテーションとは?
「ご自宅で生活されている方に施設に通つていただき、リハビリテーションや心身機能の維持・回復を目指していただくサービスです。

三鷹中央リハケアセンターは、開設以来リハビリに重点をおいたサービスで多くの方にご利用いただいております。なかでも特にリハビリの意欲のある方のご利用が多い、通所リハビリテーションについてご紹介させていただきます。



どのような人が利用できますか?
「要支援」または「要介護」状態と認定された第一号被保険者の方」または、「特定疾病に起因した「要支援」または「要介護」状態と認定された第二号被保険者の方」がご利用していただけます。



どどんなスタッフがい
ますか?
「理学療法士(3名)、リハビリ補助スタッフ(2名)、看護師、介護士がご利用の方のリハビリをサポートいたします。

通所リハビリテーションの紹介

三鷹中央リハケアセンター

～1日のながれは?～

9:30～	施設到着
10:30～11:30	集団体操 (座ったままできるストレッチを中心とした簡単な体操です)
12:00～13:00	昼食
13:00～	個別リハビリ (各々お体の状態に合わせたリハビリを実施します)
15:00～	おやつ
15:30～	施設出発



三鷹中央病院

【リハビリから診療体制変更のお知らせ】

平成18年4月より診療報酬改定に伴いリハビリテーションの診療体系が見直されました。変更内容と致しましては、疾患別の算定となつたことと、訓練可能な日数に上限が設けられたことがあげられます。具体的には心大血管疾患リハビリテーション150日、脳血管疾患等リハビリテーション150日、呼吸器リハビリテーション150日、呼吸器リハビリテーション90日で、言語療法も同様です。

なお、当院では脳血管疾患・運動器・呼吸器リハが可能です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【『抹茶どら焼き作り』をしました】

三鷹中央リハケアセンターでは、入所の階ごとに毎月楽しい行事をしています。リハケアセンターや4階の行事ではご利用者様とスタッフが一緒にどら焼きを作り、施設の屋上で召し上がっていただきました。天気にも恵まれ、なかなか外出する機会のないご利用者様もとても喜ばれていました。(4階介護スタッフ)

その他

当法人では、医療と介護の両面から地域の皆様にサービスを提供することを目指し、平成17年5月に介護老人保健施設三鷹中央リハケアセンターを開設いたしました。

そしてさらなる充実を図るために、新たに社会福祉法人正寛会を設立し、武蔵野市に特別養護老人ホーム「ケアコート武蔵野」を、平成20年5月の開設に向けて工事を進めています。

つきましては、職員の募集をしておりますので詳細につきましてはご連絡をお願いいたします。

問い合わせ先

電話
住所
開設準備室 根本・伊東
0422-(39)0390
武蔵野市境南町5-10

リハケアセンター 今後の行事予定	
8月	うちわ作り(予定)
9月	敬老会
10月	お月見(予定)
11月	音楽(ハーモニカ)・映画鑑賞(予定)
12月	クリスマス会

○三鷹中央病院

住所: 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel: 0422-44-6161(代) Fax: 0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、

診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科: 内科・循環器科・内分泌科・呼吸器科・外科・消化器科・肛門科
整形外科・皮膚科・脳神経外科・眼科・泌尿器科・リハビリテーション科
人間ドック(1日・1泊)・健康診断・各種検診・産業医委託
診療時間: 月~土曜日/am9:00~12:00 pm2:00~5:30
日曜・祝日/am9:00~12:00 (救急外来は24時間受付)
病床数: 122床(一般病床)
その他: 三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel: 0422-48-6031

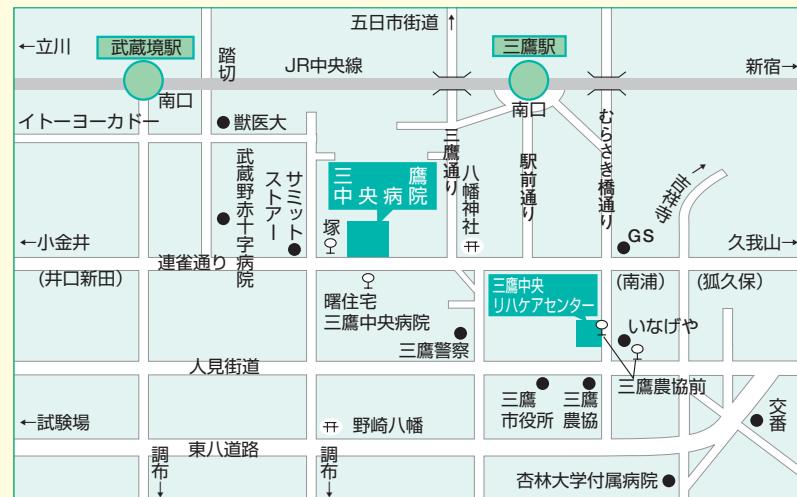


○三鷹中央リハケアセンター

住所: 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7
Tel: 0422-70-0700(代) Fax: 0422-70-0701
☆心のこもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

- ベッド数: 100床 (一般療養100床)
4床室/19室 2床室/1室 個室/22室
- 機能訓練室: 207.00m²・機械浴室・男女別自立浴室
- 通所リハビリ: 60人 通所食堂 (219.00m²)
- 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所

ACCESS



三鷹中央病院

- JR中央線三鷹駅下車(南口)
 - 南口よりバス、タクシー(1区間)
 - ④「新小金井駅」行
 - 小田急バス ④「武蔵境営業所」行
 - ⑤「調布駅北口」行
 - 『曙住宅・三鷹中央病院前』 下車徒歩1分

三鷹中央リハケアセンター

- JR中央線三鷹駅 南口下車
 - 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
 - 『三鷹農協前』下車徒歩1分